

会 議 録

会議名	第2回かつらぎ町長期総合計画策定審議会
日時	平成25年1月31日（木） 19:00～
場所	かつらぎ町 防災センター 1階
出席委員	阪田 恵央 岡村 祐三 西浦 康祐 伊藤 和子 安武 史 前田 裕巳 山田 耕作 谷口 守 阪中 孝三 志富田和代 藤田 武弘 澤本 義明 田口 順啓 【順不同敬称略 13名出席】
公開状況	公開（傍聴者0人）
次第	1. 開会 2. 会長あいさつ 3. 議題 <ul style="list-style-type: none"> ・ 審議会の傍聴（公開）について ・ 第4次長期総合計画（素案）について ・ その他 4. 閉会
資料	第4次かつらぎ町長期総合計画（素案） 第4次かつらぎ町長期総合計画基本構想の体系図 長期総合計画策定スケジュール（案） 庁内取りまとめ意見・提案一覧 第1回長期総合計画策定審議会議事録

1. 開会

事務局より開会のあいさつ、資料確認。審議会の開催にあたり、委員13名中13名の出席により本会議が成立していることを確認。

(事務局)

今回の議事については非公開とする案件を含まないために公開としてよろしいか。

<「異議なし」の声あり>

本日の会議は公開とさせていただきます。それでは、藤田会長からご挨拶をお願いします。

2. 会長あいさつ (藤田会長)

みなさんこんばんは。本日で第2回目となります。前回の議論を踏まえ、いよいよ総合計画にかかる部分が出てまいりましたので、そのあたりのご説明いただいて、議論を深めるということになると思います。日本もいろんな言葉が言われていますが、政権交代が起きて、力強い日本経済の再生をと言われていています。

日本のものづくりを支えているのは、中小企業とか、農山村の中で言うと地場産業。同じ柿を作っている、ブドウを作っている農家によって技術がちがう。1軒1軒の技術力・モノづくり力を今見直していかないといけない。そんな時代がいま来ているのではないかと思っています。

そういう意味ではこの平成25年っていうのは大きく日本の社会のこれからの歩む道を変える年になるのかなという風に思っています。ぜひ、地域の力をしっかりつけていくというような年にしたいと思っています。そういった点で言えば、今回の審議会、一般公募で応募していただいた方を含め、世代が非常に多岐にわたって前回ご意見いただいたような議論ができる条件が整っているのかなと思っていますので、ぜひ、今回も活発な意見交換をお願いできればなと思っていますので、よろしくをお願いします。

3. 議題

- ・ 審議会の傍聴（公開）について

開会において確認及び承認済

- ・ 第4次長期総合計画（素案）について

長期総合計画（素案）の序論部分について事務局より説明

(藤田会長)

ありがとうございます。今ご説明いただいたのは、前回の1回目で十分にご説明なり・共通認識を持つまでに至らなかった部分であったと思いますが、この辺りをご覧いただいて、現状認識の部分で、こういう項目の立て方が足りないのではないか、時代の今の流れ、もっとこういう項目をたてて理解すべきではないかというご意見あれば、お伺いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

(委員)

統計などの作り方なんです、人口が17年から減っているとあるが、17年を起点としてしかグラフを作っていない。17年以前のデータが全くない状態で、17年から減っているというのは、あまり言わない。そういうグラフが17年を起点とする5年後の国調のデータありますが、一方で、就業別の方は12年だったりしている。

統計年次の区切り方・取り方を統一して、もし変化があるのならば、前の年からの変化がわかるようにしておかないと、今の説明では減っているかどうかかわからない。

(事務局)

修正致します。

(委員)

男女共同参画みたいな話はどこにも入っていない。いろいろな自治体で共同参画という話は出ていると思うが、文言的にはどこにも入っていないのですか。

女性の力が今非常にいろんなところで発揮されている時代なので、ぜひ長期総合計画の中で共同参画の視点は盛り込んでいただきたい。

(事務局)

真の豊かさを求める時代という部分の中で、自由な選択と決定、それぞれの個性を十分発揮できる社会という部分の中に総称したつもりです。その部分について表現が不十分であるのであれば、この部分で修正したい。

(委員)

文言的なものを盛り込んでいただきたい。

(藤田会長)

他に何かありませんか。本当に大事な文章なので抜けている部分があれば、ぜひ提案をお願いしたい。

(委員)

商工会振興事業と書いてあるが“会”いらぬのではないか。

(事務局)

再度確認し、不必要であれば「会」を削除致します。

(委員)

産業・雇用環境、いわゆる経済全般というところがあまり見られない。地域資源の見直しと書かれているが、雇用体系とか安心して豊かに暮らそうと思ったら、仕事だと思ふ。

(藤田会長)

社会情勢の動きのところですね、そこでも雇用の動きも書いた方がいいということですか？

(西浦委員)

書いた方がよいのではないか。

(事務局)

時代的な流れをここで示し、次の構想において、町にも影響があるような全般的な

時代の流れを書いております。

(藤田会長)

施策の大綱の、地域の特性を生かした活力を生むまちづくりのところの雇用などについて書かれているということですか。

(事務局)

はい。

(藤田会長)

以上ですが、いかがですか。

(委員)

時代、時代と書いてあるが、いま世界的な動きの中で失業率などがキーワードになっている。

(藤田会長)

雇用が不安定であるというような時代認識が必要ということですね。危機意識があるのは、高齢化・人口減少だけじゃなく、雇用不安の話もあっていいのではないかというご意見。記載をお願いしたいと思います。

(事務局)

雇用の不安定さという表現での記載を検討します。

(藤田会長)

世界的にみても危機的な時代に差し掛かっている。日本の中でも、特に青年層での雇用不安の問題広がっているので、そのあたりを書いた方がいいと思います。

他になにかご意見ございませんか。

文言上の問題をご確認いただくのと、統計的なところを整理していただくのと、時代認識のところ、雇用不安という問題をネガティブな時代認識のところ、書いてもらうということによろしいですか。みなさんご確認ください。

今回は、そのあたりを書き込んでいただいたものをお示し頂き、確認をするということによろしいでしょうか。

<「異議なし」の声あり>

それでは、今日の核心になる議論のところに進みたいと思います。

基本構想について、事務局よりご説明をお願いします。

事務局より基本構想の構成や記載内容について説明

(藤田会長)

基本構想は、第1章4つの節から成り立っているとご説明頂きましたが、この中身についてご意見頂戴したいと思いますが、いかがでしょう。

(委員)

アンケートの結果を見ても「働く場が少ない」が意見として最も多いのに、働く場所をどうするかについて記載がないのではないかと。豊かな自然や人間性、明るいまち

づくりについては書かれているが、働く場所について記載されていないならアンケートを載せる意味はないのではないか。

地域産業の資源というのは農業・林業だけでなく、例えば加工業、商業、工業誘致などで働く場所を求めるということについて、どこに記載されているのか。

働くところがあってこそ笑顔があるのだと思う。

(事務局)

今ご指摘のあった部分について、活力という部分を考えた場合、非常に大事なことです。記載したいと思います。

(藤田会長)

まちづくりの目標というタイトルのところで、理念と将来像、将来像を目指すための施策と大綱の関係を示す図はありますが、文章として記載がなく、例えば次のとおり将来都市像を定めますと書いてあるが文章が無くて絵だけですよね。

このあたりもう少しちゃんと書き込む必要があるだろうし、住民アンケートを基本とするのであれば、このアンケートをふまえてどういうことが必要なのかということも書き込んでいくことが必要だと思います。

この目標の中に「3節計画推進による推計人口」と「4節地域の基本的構成」がここにあるのかがわかりにくくて、まちづくりの目標が推計人口ではないような気がします。

基本的には理念があって将来像があったり、その将来像に向かってやるべき課題があり、その次に施策の大綱にいくのが流れとしてはいいと思います。3・4節の話は、ここにあると非常にわかりにくくなってしまうのではないのでしょうか。

3・4節は序論のところに書かれていた方が話は結びつきやすいし、整理しやすいと思いますがいかがですか。さきほどの委員からのご指摘の分も含めて、検討をお願いします。

(事務局)

わかりました。特に3節以降の序論等も含めて検討させていただきます。

(藤田会長)

他に何かお気づきの点ございませんか。

(委員)

一番大事なことは、かつらぎ町を豊かなまちにしていく、みんなが笑顔で明るく住んで行ける、人と人が助け合って生きていける、そういうまちにしていくということだと思う。しかし、人口が減るということに対する対策がここに書かれていない。

自分たちが住んでいる地域を大切に想い、住み続けられる条件を行政が中心となって整え、その条件に対して住民がみんな協力し合って、まちづくりに努力していくというのが、町が進めている協働なのではないか。

行政の姿勢をもっと計画に出してほしい。

(藤田会長)

他にないでしょうか。

(委員)

幼保一元化の話なんですけど、子どもの数が減ってきているので、効率なども考えて一元化を検討されていると思いますが、効率だけを求めているのか。今までどおりの教育は受けられるのかというところを心配している。

(委員)

高齢者が孤立せずに目的を持って、生きがいを持って安心して生活できるまちづくりを考えてほしい。

(藤田会長)

高齢者が安心して暮らしていけるまちになってほしいということですね。他にも意見ありませんか。

(委員)

基本理念や将来像は、どうやって作られたのか。誰が考えたのか説明してほしい。

また、内容についても何をもとに考えられたものなのかが分かりにくい。町民の意見がどの程度反映されているのか説明してほしい。

(藤田会長)

ありがとうございます。1つは、将来像で出てきているいくつかのキーワードは、のような経過でおおやけになってきたのかをご説明頂きたいということですね。もう1つは、基本計画の基本的な方向になると思うんですが、住民の意見をくみ取ることがほんとにベースになっているのかというご意見ですね。これは当然行政としてはそうあるべきだと思いますが、ご回答ありましたらお願いします。

(事務局)

基本理念につきましては、住民が笑顔で暮らせるまちづくりを行政として進めていく必要があるということで現在の形になりました。将来像については、新たに4次計画を策定するにあたって、6つの柱を中心にこれは事務局において案として考えたものです。

(藤田会長)

将来像というのは6つの柱なんですか。「人・自然・文化・笑顔が結ぶやすらぎと活力のまちかつらぎ」と斜め書きになっている文字が将来像ということになるのでしょうか。

(事務局)

将来像というイメージの中で考えた部分です。

施策大綱がイメージで、それを図式化したものを示しています。

(藤田会長)

そのあたりが少しわかりにくいですね。

(事務局)

将来像については、案ということで議論をしていただければと思います。

(藤田会長)

これは何かの理念なのですか

(事務局齊藤)

理念ではなく将来のまちのイメージです。

(委員)

これはもう変えられないのでしょうか。

(藤田会長)

今ご説明があったところは、2章以降で具体的に議論が進んで、今回の構想の中に盛り込まれる内容なので、その部分についてこれから議論していくということだと思いますよね。

(委員)

将来像が変わってくる可能性があるということですか。

(藤田会長)

そうですね。さきほど現状認識のところでも議論があったような雇用の問題や働く場所が少ないというところを出発点にしながら考えていくのであれば、内容が変わってくると思います。2点目の質問として、住民の意見をどのように踏まえているのかということについては、どうでしょうか。

(事務局)

ご指摘のあった部分に関しては再度文書表現等を修正する方向で考えるということではいかがでしょうか。

つまり、雇用の場、少子高齢化等住民の方から出されている内容を踏まえたうえで、この将来像をどのようにすすめるかということをごここに記載をしていくということです。

(藤田会長)

今日の議論の内容を踏まえた上で、もう少し書き込んでいただくということでもよろしくをお願いします。

みなさん、よろしいでしょうか。

(委員)

アンケートの結果を踏まえていると考えていいのか。

(藤田会長)

事務局としては、町民の今の現状・問題点を踏まえたうえでこの計画をたてていくという方向でいいですよ。

(事務局)

アンケートの結果を検討した上で、この長期総合計画の素案を作成しております。

(藤田会長)

では、これからご説明いただく構想の中に、先ほどから議論されているような内容がどのように反映されているのかを、チェックしながら議論を進めていきたいと思っております。

事務局から、ご説明いただいてよろしいでしょうか。

事務局より基本構想について説明

第1節 豊かな自然と歴史・文化のまちづくり

第2節 地域の特性を生かした活力を生むまちづくり

第3節 安全で安心して暮らせるまちづくり

第4節 豊かな人間性を育むまちづくり

第5節 みんなでつくる協働のまちづくり

第6節 信頼される役所づくり

(藤田会長)

ありがとうございます。みなさんすでにお読みいただいていると思いますが、ようやくこの基本構想の骨格が出てきました。

確認になりますが、働く場が少ないという現状については、この2節の地域の特性を生かした活力を生むまちづくりというところで答えようということで間違いないですか。

(事務局)

そうです。

(藤田会長)

少子高齢化については、どこで答えているかたちになりますか。

(事務局)

3節になります。

(藤田会長)

3節の安全・安心して暮らせるまちづくりというところの子育て支援ということでもよろしいですか。若い世代が少ないというのはどこでしょうか。

(事務局)

それは、一概にここという部分はないです。

(藤田会長)

2節、3節、4節にかかってくる。

(事務局)

そうです。すべての施策が連携することにより定住・移住につながるということで、2節の移住・定住の中に含ませています。

(藤田会長)

わかりました。このように、みなさんが議論していくうえで住民の抱えているかつらぎ町の現状認識に対してどう答えているのかという視点から、施策大綱の1～4節までを中心に考えたいと思います。5～6節は、その1～4節までを協働と行政が責任をもって推進していくという話になると思います。

また、柱建てがいいのかについてもご意見いただきたいと思います。いかがでしょうか、みなさんこの1節2節のタイトルの打ち出し方、書いてある内容、その点についてのご意見、頂戴したいと思います。

(委員)

柱建ては4つでいいと思う。

(委員)

アンケートに対する答えはここに散らばっているということではないか。

(委員)

豊かな人間性を育むまちづくりというところで、「学校・家庭・地域が連携して」と書かれています、少し欠けているように思いますので、科目が増えたこともあり、その子ども達に対してのサポートを町の方でも考えて頂きたい。

(藤田会長)

構想の部分にそのような内容が入らないのかというご質問ですが。

(事務局)

学校・家庭・地域が連携し、という分野が書いてあって、しかし、現実はどうでもないということですか。

(伊藤委員)

科目が増えるように聞いている。

(事務局)

法律等に関わる部分の記述については、非常に難しいです。ただ、ここで大綱として示している内容は、このような分野を基本計画の中に含めることが必要ですというところで、今委員がご指摘された地域との連携という分野について記述が不十分であれば、どういう形で連携をしていく必要があるかというような表現として修正を加えることは可能です。

(藤田会長)

今ゆとり教育をめぐる議論がいろいろありますが、大きな変更点というのはその総合的な時間や地域学習などの時間として確保されていた時間が、学力テストの点数中心に評価することが増えて、そっちが削られるということになっております。

それに対して、かつらぎ町としては、もっと地域で育むような手立てをしていくということを踏まえています。

委員のご指摘は、計画の具体的な話になってくると思いますので、構想ではなかなかそこまで記述できないと思います。他の方、いかがでしょうか。

(委員)

第3節の安全で安心してらせるまちづくりの中で、消防・防災体制について書かれているが、現在かつらぎ町に8つの分団があるが1つは花園にあり離れている。団員も勤め人の方が多く有事の際の活動に支障が出るのではないかと心配している。最近、行方不明人の捜索などの案件も増えているため、ますます団員の確保と有事の際の活動体制の確立が必要ではないか。

また、農業に従事する人が減っているということについては、農業だけでは生活が成り立たないということに大きな原因があると思う。農業従事者の所得を上げることで新規就農者を増やすのではないか。

(藤田会長)

ありがとうございました。今2つほどご指摘いただきましたが、1つ目は、消防防災体制、既存の地域コミュニティで維持できていたものが、状況が変わり維持できなくなっている状況に対してどのような対策を行うのかという課題。

それから、農業について所得がなかなか上がらない、農業だけでは生活を維持できないという部分、これをどう改善していくのかということですね。

他にないでしょうか。

(委員)

4節の豊かな人間性を育むまちづくりについても、まちづくりの主人公は人ですので、人の協力は非常に大切。学習面でもまた、人間成長する上でも、多くの人との交わりを大切にして、これからの社会、共同の社会となっていくとともに力を合わせて協調性を大切にして、そういう教育に取り組んで行って欲しい。

(藤田会長)

そうゆう視点から見られた時に、書かれている内容は、物足りないですか。

(委員)

大綱としては、この4つでいいと思う。

(藤田会長)

わかりました。計画の具体的な内容のところでご意見をいただければと思います。皆さんいかがでしょうか。

私もこれでいいと思いますが、2節のところでは基本計画では、農業だけじゃなくて6次産業化などの話がたくさん書いてあります。でも大綱にはそういった記述が見当たらないのもったいないと思います。ここをもう少しイメージを膨らませるような記述にされた方がいいと思います。

(委員)

全体に言えることですが、もう少し具体的なことも書いて欲しいと思う。

(藤田会長)

その点はどうでしょうか。具体的なことは、計画ということになるのかもしれませんが、何か事務局からありますか。

(委員)

具体的に言えば、雇用対策と書いてあるが、関係機関と連携して、情報提供や相談をするとしか書かれていない。雇用を生む元になるものをどうするのかというところがかかれていない。

(藤田会長)

基本計画のなかで6次産業化とか書いてあるので、そのような仕組みを通じて新たな雇用を創出するという記述があれば積極的だと思いますが、これだけではわかりませんね。

構想の柱立てについてはこの形でよろしいでしょうか。他に何か特にご意見ございませんか。

計画の内容について、たくさん意見お持ちのようだと思いますので、今日の議論の中心部分、この大きな枠については、概ねよしということでご了解でよろしいでしょうか。

<委員全員賛同>

今日いろいろご意見をいただいた部分、特に、基本計画全体の構成に関わって、1章の目標のところの議論あるいは現状、認識すべき時代の潮流に対してご意見を頂いておりますので、次回冒頭で確認させていただいて、基本計画に立ち入って議論をしたいと思います。計画の内容を見た時に、1節の記述内容について意見が出てくるかもしれませんので、次回できれば基本計画の中身に立ち入って、具体的な議論を進めて行くようにしたいと思いますが、事務局の方としてはどうでしょうか

(事務局)

はい

藤田会長より長野県飯田市が取り組んでいるワーキングホリデー制度の紹介

(藤田会長)

先ほど確認しましたように、基本構想については概ね了解を得たということで、今回は基本計画を見て頂いて、かつらぎ町将来像に対する町民アンケートが本当に基本計画の中で応えられているかというような視点から、ぜひ積極的な議論をお願いしたいと思います。本日はこれで終わりたいと思いますので、事務局にマイクをお返ししますので事務的な連絡がありましたらお願いします。

(事務局)

本日は貴重な議論重ねていただきまして、ありがとうございました。それと、1つ今日の目標でありました6つの大綱の部分についてのご承認いただき、ありがとうございました。次回から計画の部分に入りますが、計画の部分についても積極的な議論をよろしく願いいたします。

4. 閉会（藤田会長あいさつ）

大変熱心にご審議いただきありがとうございます。進み方がスピードアップいたしまして、みなさまには、十分な討議ができなかったと思います。大変厳しいスケジュールの中ではありますが、次回につきましては、少し早い集まりですがよろしく願いします。あとご審議いただきますのは、基本計画ということで、もう少し細かい内容に入っていきますので、その点十分お読み頂きまして、足りないところにつきましては議論していただいて、よろしく願いいたします。ほんとに今日はご苦労さまでした。ありがとうございました。